

## 令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	30	学校名	大淀高等学校
----	----	-----	--------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1)「校外美化活動」 (2)録音演奏贈呈会「音のプレゼント」
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1)第3学年「生徒会活動」 奉仕の精神を養い、地域との交流を図ることを目標とした。 (2)選択科目「音楽Ⅲ」 創造することの喜びを体得し、奉仕の精神を養い、地域との交流を図ることを目標とした。
連携・協働相手	(1)「学校近隣の方」「近鉄下市口駅」 (2)「社会福祉法人総合施設 美吉野園」
地域と共有している目標・課題等	(1)清掃活動を通じた地域交流機会の増加 (2)近隣の介護施設との連携機会の増加
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>(1) 1学期、2学期の中間考査最終日、期末考査最終日に生徒会執行部を中心に全生徒に呼びかけ、学校周辺の歩道や側溝、近鉄下市口駅のトイレなど、日頃お世話になっている近隣の方のために最寄り駅を清掃することで、奉仕の精神を養い、地域との交流を図った。</p> <p>(2) 本校第3学年音楽選択者が、近隣施設美吉野園に演奏を録音したCD-Rを届ける機会を設けた。曲は、美吉野園園歌やクリスマスソング、童謡や、演歌など幅広い年齢層に考慮したものを録音した。今後は、生の演奏を届ける方法を模索したい。また、生徒会、総合的な探究の時間等利用し、学校全体で近隣施設との交流を増やしていきたい。</p>	

### 2. 事業の成果と課題

<p>(1) 校外美化活動を実施する日が年間4回あるが、全員必ず1回は参加することで、奉仕の精神にふれた。毎回全校生徒が参加できるような工夫を継続し、生徒のボランティア精神を育みたい。活動中に近隣の方と積極的に関わることで、生徒のコミュニケーション能力も育てていきたい。</p> <p>(2) 生徒はCD制作にあたり、聴き手を考慮した選曲を行うなど、前向きに取り組んでいた。今後は、コロナ禍においても安全に交流できる方法を生徒が主体となって考え、活動することを考えていきたい。</p>
--

